

私の 3 冊

関口 雄介

せきぐち・ゆうすけ 理学療法士 17 年目
東北大学病院リハビリテーション部

大学病院で主に中枢疾患、整形外科疾患のリハビリテーションに携わっています。また、大学病院に勤務してから 3 次元動作解析装置を用いた動作解析に関する研究も継続して 15 年間行ってきました。産学連携や医工連携を工学部のエンジニアや企業の研究者と研究を行ってきましたが、その時、役立ったのが理学療法士の経験と動作解析に関する知識です。動作解析の知識を身に付ける 1 冊、臨床で役立つ 1 冊、大切にしている 1 冊を紹介させていただきます。

後輩に薦める 2 冊



臨床歩行計測入門

臨床歩行分析研究会 監，江原義弘，山本澄子 編著
医歯薬出版 2008 年

歩行を計測する初学者にとって有用な本です。工学者ではない私にとって理解が難しい動作解析装置について理解しやすく記載されており、知りたい説明の箇所を何度も読みました。また、装置や計測のことだけでなく、動作解析特有のデータ解析についても記載されており、動作解析の理解を深めてくれます。



モーターコントロール 原著第 5 版 研究室から臨床実践へ

Anne Shumway-Cook, Marjorie H. Woollacott 著，田中 繁，
蜂須賀研二 監訳
医歯薬出版 2020 年

この本の副題の「研究室から臨床実践へ」というメッセージが好きです。臨床でのリハビリテーションの場面で起こる現象は、研究成果からそのメカニズムが明らかにされ、対象者に適切なアプローチを行うことが可能になると思います。研究成果を臨床で実践するための指南書であり、臨床でも研究をしている場面でも読みます。

自分の 1 冊



やり抜く力

人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける

Angela Lee Duckworth 著，神崎朗子 訳
ダイヤモンド社 2016 年

臨床と研究を両立させるのは大変ですが、自身が大学病院に勤務してから 15 年間続けられた理由は何かと考えた時に、この本には、臨床と研究を両立させる経験を通して自分が感じていたことが書かれていました。それは目標に向かって「やり抜く」ことが才能よりも大事ということです。また、本書には「やり抜く」方法についても記載されており、大いに参考になりました。今後も大切にしたい 1 冊です。